

河内小学校・入野小学校・河内中学校で 小中一貫特認校制度を導入



河内小学校
入野小学校
河内中学校

小中一貫教育



東広島市立河内小・中学校



東広島市立入野小学校

学校教育目標

「夢と志」をもち主体的に生きる児童・生徒の育成

河内小、入野小、河内中では、特色ある小中一貫教育に取り組んでいます。令和6年4月1日より小中一貫特認校としてスタートします。

小中一貫特認校設置の目的

特色ある教育課程を実施することにより、小中一貫校で学びたい児童生徒に対して、通学区域を制限せず、市全域からの就学・転学を可能とするものです。

河内小学校・入野小学校・河内中学校の特色ある取組

地域創生プロジェクト

総合的な学習の時間において、高校や企業、地域の伝統文化、東広島市内外の学校と連携等による学びを設定し、課題解決に向けたプロジェクト学習を行っています。また、地域の一員として、学年段階に応じた防災学習に取り組んでいます。



遠隔授業の充実

ラーニングルーム（協働学習ルーム）で、河内小と入野小の小小連携や他地域の小中学校や大学・企業等との連携した遠隔交流学習等を行うことを通して、協働的な学びの推進により、表現力の向上を目指しています。



外国語教育の充実

河内小と入野小の外国語教育の授業で中学校教員と小学校教員が、ティーム・ティーチングを行い、個別対応や多様な学習活動を行い、小学校段階から外国語教育に対する興味・関心を高め、9年間で付けたい力を意識した取組を行っています。



これまでに河内小学校・入野小学校・河内中学校の3校で、小中一貫教育に取り組み、児童生徒や教職員との関わり合いを大切にし、地域の方々の力添えをいただきながら、これからの時代をたくましく生きる力の育成を目指しています。